【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法管理学		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡辺　俊太郎	C318	shuntaro.watanabe		火曜日　10：40～12：10	

授業の目的・概要	医療や福祉制度、保険制度を理解してチームアプローチ、業務管理、リーダーシップといった作業療法の管理運営に関する理論と実践を習得する。また、職業倫理を学び、実習や作業療法士として社会で活躍する際に適切に振舞う事ができる。
授業形式・方法	☑対面授業　☑講義　☑演習　☐PBL　☐反転授業　☐ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ ☐遠隔授業(双方向型)　☐実習　☐実技　☑ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ　☐ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ　☐実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ ☐遠隔授業(自主学習)　☐その他　（　　）
学習上の助言	作業療法概論などの復習をしてから受講することを推奨します。また、日々の報道情報を通して、医療事故や医療管理の案件に注視しておき、医療管理運営の観点から考察をする。
教科書	作業療法管理学入門　第 3 版/編:大庭 潤平/医歯薬出版
参考書	リハビリテーションリスク管理ハンドブック　第 4 版/編:亀田メディカルセンター/MEDICAL　VIEW リハビリテーション管理学/編:齋藤　昭彦/羊土社 作業で結ぶマネジメント/編:澤田　辰徳/医学書院
外部教材	

	学生が達成すべき行動目標	関連卒業認定・学位授与方針
①	作業療法に必要なマネジメントについて説明できる	HSU(2)(5)、OT(2)(3)
②	作業療法に関連する医療福祉制度を説明できる	HSU(2)(5)、OT(2)(3)
③	作業療法部門の管理・運営に関する必要事項を具体的に述べることができる	HSU(2)(5)、OT(2)(3)
④	作業療法の記録や報告の重要性を理解できる	HSU(2)(5)、OT(2)(3)
⑤		
⑥		

授　業　計　画

回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	作業療法におけるマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書の目次を読み科目の全体像を把握する。	1
2	組織の成り立ちとマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
3	情報のマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
4	作業療法と医療サービスについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
5	医療安全のマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
6	作業療法業務の人・物・経済性のマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
7	作業療法業務の情報・時間・ストレスのマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
8	実践から作業療法業務のマネジメントについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
9	作業療法の役割と職域について学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
10	作業療法士の職業倫理について学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
11	医療保険制度と介護保険制度について学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
12	障害者福祉制度と地域包括ケアシステムについて学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
13	作業療法臨床実習の理解と管理体制について学習する	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
14	作業療法士のキャリア開発について学習する	［担当］渡辺 [講師]平原由梨子	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
15	まとめ	［担当］渡辺	講義・演習	教科書と配布資料を参考に復習する。	1
試	定期試験				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	20	30

評価のポイント				フィードバックの方法
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布資料・板書ノートの内容に基づく問題および応用問題を出題し、理解度を問う(70%)。	研究室(C318)もしくはリモート等で試験結果を個別に開示し、解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	講義・演習の内容について小レポートを授業中に実施する。知識・技術力、思考・推論・創造する力、取り組みの姿勢・意欲、問題を発見する力を問う(30%)。	各授業にて解説する。加えて、個別に開示し、解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備　考	
他担当教員	なし
教員の実務経験	本科目の担当教員は、医療機関の管理責任者として 10 年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	テキストと合わせて臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。
その他	授業は面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。 今後の新型コロナウィルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。